

開講年次・時期	1年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC310	科目名	介護総合演習Ⅱ	担当者名	芳賀 砂智子
授業の概要	実習の教育効果を上げるため、事前に実習施設についての理解を深めるとともに、各領域で学んだ知識と技術を統合し、介護実践につなぐ。				
科目の到達目標	多職種との協働の中で、介護福祉士としての役割を理解するとともに、サービス担当者会議やケースカンファレンス等を通じて、多職種連携やチームケアを体験的に学ぶ。また、質の高い介護実践やエビデンスの構築につながる実践研究の意義とその方法を理解する。				
DPの観点	③柔軟性(10%) ⑥専門知識・技能(30%) ⑦思考力(30%) ⑧実践力(30%)				
授業時間外学修(予習・復習)	「介護実習の手引き」とテキストの習熟。実習に向けた課題の明確化と指導助言。事前学習・振り返りのための学習をすること。予習復習を各2時間行うこと。				
フィードバックの方法	コミュニケーションカードをもとに、授業の前後で振り返りを行う。				
単位認定の要件	授業内活動や実践力の習熟度等から総合的に判断する。				
評価の方法・割合(%)	レポート(40%) 授業内活動(30%) 提出物等(30%)				
履修上の注意事項	テキストの他、毎時間「介護実習の手引き」を持参すること。介護福祉士資格取得必修科目。30分以上の遅刻は欠席とする。遅刻3回で欠席1回とする。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			授業概要、実習Ⅰ-A、Ⅱ-Aの振り返り	①⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
2			演習：実習施設の理解①	①⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
3			演習：実習施設の理解②	①⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
4			演習：発表	①⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
5			実習施設の理解①（訪問介護）	①⑥⑦	コミュニケーションカード
6			実習施設の理解②（通所介護、通所リハビリテーション）	①⑥⑦	コミュニケーションカード
7			実習施設の理解③（小規模多機能型居宅介護）	①⑥⑦	コミュニケーションカード
8			実習施設の理解④（障害者支援施設・救護施設）	①⑥⑦	コミュニケーションカード
9			介護実習Ⅰのねらい・実習モデル①（利用者の生活を知る）	①⑥⑦	コミュニケーションカード
10			実習モデル②（介護技術）	①⑥⑦	コミュニケーションカード
11			実習モデル③（地域に目をむける）	①⑥⑦	コミュニケーションカード
12			実習Ⅰ-B書類の作成方法	①⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
13			介護実習計画の作成方法	①⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
14			実習中の心構え：実習に向けた諸注意	①⑥⑦	コミュニケーションカード
15			観察と考察、まとめ	①⑥⑦	コミュニケーションカード
期末試験			レポート		

使用テキスト	『最新・介護福祉士養成講座』第10巻「介護総合演習・介護実習」中央法規出版 介護福祉士養成講座編集委員会
参考文献 参考URL	「介護実習の手引き」青森明の星短期大学
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--